

取材のご案内

京丹後市×トロント大学・スタンフォード大学研究者と連携
次世代のリーダーを育成する
「Kyotango Sea Labo」ワークショップ開催！

令和6年7月26日

京丹後市教育委員会

京丹後市教育委員会は、令和4年度よりスタンフォード大学（アメリカ）、トロント大学（カナダ）の現役研究者が率いる一般社団法人スカイラボ（※1）と連携し、京丹後市の中高生にカスタマイズした「丹後学（地域探究学習）×デザイン思考×STEAM 教育」の融合プログラムの開発を進めています。

プログラム開発の最終年度となる今年度も、「世界を意識し、グローバル社会で活躍できる、イノベティブなリーダー人材を京丹後に育成する」ことを目的に、昨年度に引き続き中高生を対象に「どこまでも広がる みらいのまちを創造する Kyotango Sea Labo」を実施し、参加する子どもたちが将来グローバル社会で活躍し、本市発展の担い手となっていくことを期待します。

今年度は、中高生向けワークショップに加え、市内小中学校の教員向けワークショップも同時開催し、学校の教育活動における「丹後学（地域探究学習）×デザイン思考×STEAM 教育」の発想に基づく教育実践に向けた学びの機会に繋げることを目指します。

8月5日（月）～9日（金）に開催するワークショップには、STEAM 人材育成を牽引するトロント大学の木島里江准教授、スタンフォード大学のヤング吉原麻里子講師等、現役研究者ら並びに両人が共同設立した一般社団法人スカイラボのチームを本市にお招きし、市内の中学3年生・高校生の計35名とそれをサポートする国内外の大学生・大学院生9名、地元企業関係者10名（教員向けワークショップの協力企業含む）とともに、シリコンバレーで注目される発想のメソッド「デザイン思考」を学び、クリエイティブな考え方を身につけて本市の未来を切りひらくイノベーターを育成する探求型ワークショップを英語で実施します。本市が両大学の関係者をお招きし、取り組みをするのは今年で3年目になります。

ワークショップ期間中の見どころは、8月7日（水）・8日（木）9時30分～10時30分に取り組む、参加生徒が地元企業関係者にインタビューし、その人柄にせまりながら人間中心の発想を学ぶ活動となっています。

【概要】

1. 日時 令和6年8月5日（月） 9：00～16：30（Day1）
6日（火） 9：00～16：30（Day2）
7日（水） 9：00～16：30（Day3）
8日（木） 9：00～16：30（Day4）
9日（金） 9：00～16：10（Day5）

2. 会場 丹後・知恵のものづくりパーク B棟内
（京都府京丹後市峰山町荒山225番地）

3. 取材に係るお願い

ワークショップ期間中の取材については、写真・動画の撮影は随時可能ですが、プログラムの進行に影響のないよう、取材にご協力をお願いします。参加生徒、大学生・大学院生、木島里江准教授・ヤング吉原麻里子講師らへのインタビュー時間は別途設けておりますので、ワークショップ中は講師及び参加者へのインタビューは行わないようご協力ください。

<入場の制限について>

8月6日（火）9：00～12：00は、企業訪問へ出掛けますので、丹後・知恵のものづくりパークへの入場は不可とします。

<企業訪問時（8月6日（火）9：00～12：00）の取材について>

報道機関に限り、下表の場所及び時間での取材対応を可能とします。希望される方は現地へ直接お越しください。一般の方は見学いただけません。

	企業名	住所	時間
1	ヒロセ工業株式会社	京丹後市大宮町善王寺743	9：25～11：30
2	田勇機業株式会社	京丹後市網野町浅茂川112	9：40～11：30
3	株式会社U設計室	京丹後市網野町島津485-2	9：30～11：30

<インタビューについて>

※プログラムの進行状況により、開始時間が遅れる場合がありますのでご了承ください。

○対象：木島里江准教授・ヤング吉原麻里子講師・松本明彦京丹後市教育長

8月8日（木）15：15～15：30（15分間） ※場所：2階交流スペース前

○対象：参加生徒及び大学生・大学院生

8月5日（月）～8月8日（木）12：10～12：30（20分・お昼休憩中）

※場所：2階大研修室・交流スペース

4. その他 概要は添付資料のとおり

備考

※1 一般社団法人スカイラボ

- ・スタンフォード大学で博士号を取得し、シリコンバレーで子育てをしていた日本出身の女性たちが、教育や人文・社会科学といった自分たちの専門性を使って、STEM領域の男女格差を是正するために何かできないだろうかと、スカイラボを2016年に設立。
- ・スカイラボが設立以来手掛けてきた“デザイン思考を英語で学び人間中心のアプローチでSDGsの社会課題に取り組む女子高生対象のSTEAMワークショップ”が公益財団法人日産財団が主催する2022年度の第5回リカジョ育成賞の申請者26件より準グランプリを受賞。

【問い合わせ先】

京丹後市教育委員会事務局学校教育課

担当：松本・戸田

TEL 0772-69-0620/FAX 0772-68-9061

Mail gakkokyoiku@city.kyotango.lg.jp



Kyotango Sea Labo プログラム'24 大まかなカリキュラム

※実施内容は、急遽変更になる可能性があります

Day 1 エンパシーとは 8月5日(月)	Day 2 STEMとは 8月6日(火)	Day 3 デザイン思考サイクルとは 8月7日(水)	Day 4 デザイン思考サイクルとは 8月8日(木)	Day 5 プレゼンテーション 8月9日(金)	Day 6 振り返り 9月7日(土)
9:00 開始 9:00- Kyotango Sea Labo開会式 Team Building Activities 10:00-11:00 講話 社会福祉法人みねやま福社会 常務理事 櫛田 啓 11:35- 共感(Empathy)とは	9:00 開始 9:10- 企業訪問 (デザインシンキングパートナー としてご協力いただく地元企業 の方の講話・職場見学) ※丹後・知恵のものづくり パークへの入場は不可。 ※ヒロセ工業株式会社、田 勇機業株式会社、株式会社 U設計室にて取材可能	9:00 開始 見どころ！ 9:30-10:30 デザインシンキングパートナ ーへのインタビュー 10:35- デザイン思考 ニーズの抽出 (Capture Needs) デザイン思考 発想 (Brainstorm Solutions)	9:00 開始 見どころ！ 9:30-10:30 デザイン思考 デザインシンキングパートナ ーによるフィードバック (Get Feedback) 11:30- 効果的なプレゼンとは	9:00開始 10:00- 最終プレゼン	振り返りインタ ビュー (オンライン)
12:00-12:50 昼食とチームフ ォーム形成の時間	12:00-12:50 昼食とチームフ ォーム形成の時間	12:00-12:50 昼食とチームフ ォーム形成の時間	12:00-12:50 昼食とチームフ ォーム形成の時間	12:00-13:00 昼食とチームフ ォーム形成の時間	
13:00- デザインシンキングコーチ(大学生・ 大学院生)を知ろう！ 14:10- 京丹後市の現状 16:20- I like, I wish, I wonder 16:30終了	13:00- 企業訪問を終えての振り返り 15:50- デザインシンキングコーチ (大学生・大学院生)による 講話 “What I do as a STEM student” 16:25- I like, I wish, I wonder 16:30終了	13:00-14:00 講話 株式会社Enuncia 代表取締役 ハミルトン 葉奈 14:40- デザイン思考 可視化 (Prototype) 15:50- デザインシンキングコーチ(大学 生・大学院生)による講話 16:25- I like, I wish, I wonder 16:30終了	13:00- プレゼン作成 プレゼンしてみよう！ 15:50- デザインシンキングコーチ(大学 生・大学院生)による講話 16:25- I like, I wish, I wonder 16:30終了	13:00- 5日間の振り返り 15:05- 修了式 16:00- I like, I wish, I wonder 16:10終了	

- 教育DXの進展を契機として、時間・空間の不利を克服した特色ある教育モデルを東京からもっとも遠いまちのひとつである京丹後市から構築します。
- 京丹後市の有する素地を生かした教育により、地域の有する可能性を最大限に伸ばすとともに、そうした教育を核としたまちづくりを進め、地方創生の実現を目指します。

京丹後市の現況

- ✓ 京都府最北端の人口5万人のまち
- ✓ 東京から最も遠いまちの一つ(約5時間)
- ✓ 高等教育機関が存在しないまち



地理的ハンディキャップを超えた質の高い教育機会を提供することが重要

産業×人材育成



- ✓ 200社以上の機械金属業関連会社が集積
- ✓ あらゆるニーズに対応するハイテク総合産地
- ✓ 日本の文化・芸術の核である京都の中であって、300年の歴史を有する丹後ちりめんの最大の産地
- ✓ 大起業家の松本重太郎氏の生まれ故郷
- ✓ 鉄道や紡織産業等のSTEAM分野にも関連するキ・インダストリーの勃興

最先端と伝統が根付く産業構造に対応した人材の育成が重要

教育機会



シリコンバレー発の発音矯正アプリを市内全中学1～3年生のタブレットに導入



地域に根差した特色あるかみゆの「丹後学」を小3～中3まで一貫して実施



免許外教科担任制度を活用する中学校において、高度な専門性を有する講師による、遠隔授業の実施

テクノロジーも活用して多様な教育機会を有機的に結びつけることが重要



- 海外大学や地元企業、バイリンガル大学生等と連携し、市内の中高生を対象としたデザイン思考を核としたプログラムを英語により展開し、3年間かけて京丹後市版のSTEAM人材育成のためのプログラム開発を行います。(今年度最終年度)
- プログラムを通じて、京丹後市の良さを学び、コミュニティの課題を考え、STEAM人材として人間中心のグローバルな発想を身に付けて、京丹後市の未来をデザインする次世代リーダーを育てます。

ワークショップ(全6日間)



SDGsを切り口として、STEAM関連の地元企業から仕事の魅力や抱える課題等を中高生に共有



各グループで企業＝デザインシンキングパートナー(以下「DTP」という。)を選定し、インタビューを通じてDTPが抱える個人のニーズや課題を深掘り



課題解決に資するアイデア出しを行い、DTPからのフィードバックをもらいながらプロトタイプ化



試行錯誤を繰り返しながら、最終的なプロトタイプをDTPに対して英語でプレゼンテーションを実施

<デザイン思考>

1. 共感：DTPの言動を観察し、ニーズや問題を探る
2. 問題定義：DTP自身も気づいていない本質的な課題を抽出し、定義してみる
3. アイデア創出：課題を解決するためのアイデアを考える
4. プロトタイプ：アイデアを形にする
5. テスト：プロトタイプをDTPに試して改良の糸口をもらう



ワークショップの前後でアンケート等を実施



トホク大学とスタンフォード大学の研究者を中心に分析を実施(学力調査とのクロス分析等含む)

- ・ 創造性への自信の向上
- ・ 自己肯定感の向上
- ・ キャリアに対する意識変革
- ・ STEAM分野の学力向上



左記サイクルを3年間まわすことにより、プログラムを確立



教育課程内におけるSTEAM教育の実践



理論と実践を往還することで、EBPMによる教育施策を展開

ワークショップ
(実践)

研究
(理論)

EBPM
の確立

EBPM:evidence based policy makingの略。証拠に基づく政策立案。

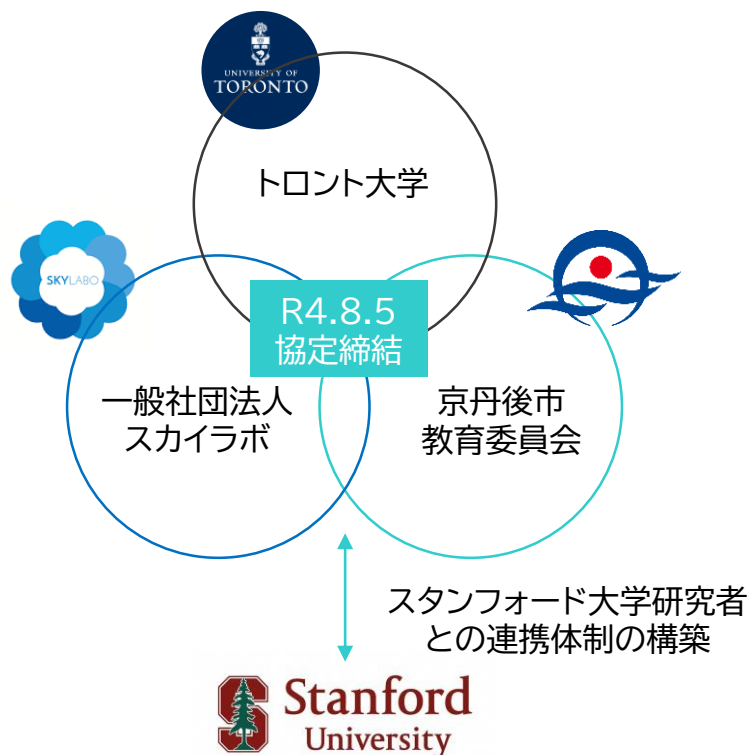
※バイリンガルの大学生・大学院生がサポートに入りながら、英語を基本として展開



- ・ 海外大学等と協定を締結し、持続的に新たな学びを実現していくための体制を構築しています。
- ・ 自ら手を挙げた市内の中高生35名(中学生31名、高校生4名)の学びを多様な主体と世代でサポートします。

プログラムの運営体制

- ✓ STEAM教育の専門性を有する組織と研究力に長けた大学との連携体制を構築
- ✓ プログラムの運用から開発までを一貫して一体的に実施



プログラムの支援体制(地元企業、大学生・大学院生)

- ✓ 9名のバイリンガルの大学生・大学院生を選抜
スタンフォード大学、京都大学大学院、京都工芸繊維大学、慶應義塾大学、東京理科大学、兵庫県立大学、京都外国語大学
- ✓ ボランティアでデザインシキングコーチとして中高生の学びをサポート
- ✓ 伝統的なものから最先端のものまで、10の地元企業等がそれぞれの魅力を学びの素材として中高生等に提供

<参画地元企業等>

- ・ ヒロセ工業株式会社(精密部品加工・金型)
- ・ 株式会社積進(精密部品加工・装置設計組立)
- ・ 田勇機業株式会社(織物)
- ・ 株式会社U設計室(建築設計)
- ・ 株式会社サブスパイア(ソフトウェア開発)
- ・ 株式会社溝川(家具)
- ・ YAMAUKAWA FARM(無農薬によるお米づくり)
- ・ 株式会社オンチュウ(グラフィック折紙)
- ・ 蒸-五箇サウナ-(アウトドアサウナ施設)
- ・ 210 Art Works(アーティスト)

※一般社団法人スカイラボ:STEAM教育により、次世代のイノベーション人材を育成する非営利団体

